

継続事業評価シート

評価実施日 令和3年3月31日

令和2年度(4年目)

Table with 9 columns: 事業コード, 11, 事業名, 広域連携の提案と促進事業, 戦略コード, 1, 戦略名, 育て・挑戦を支える商工会, 担当部名, 商工会支援部, 担当課名, 北部支援センター, 担当課長名, 金平弘道, 施策コード, 6, 施策名, 商工会間の広域連携の推進

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

地域内事業者及び会員の減少に加え、事業事務の効率化を図るため、同一事業の共同実施や、テーマ別の事業連携、小規模商工会の近隣商工会との組織連携など、地域を越えた商工会間の広域連携についての検討と実施が必要となっている。

2. 事業のねらい

商工会の限られた経営資源を有効活用し、スケールメリットを活かした効果的・効率的な事業展開を図るとともに、個社支援に集中できる環境を整え、事業者に対し質の高いサービスを提供するために広域連携を促進する。

3. これまでの評価結果

Table with 9 columns: 過年度, H29, -, H30, B, R1, B, R2

広域連携ガイドラインに基づき業務連携の提案を行った結果、既存事業の連携については有効かつ効率的な実施につながり、概ね順調である。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

商工会間の広域連携を促進するため、各商工会の受託事業等の事業評価の結果を踏まえた商工会同士の業務連携の提案を進めていく。

【取組評価】

Table with 8 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 22, 23, 24.

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 18 columns for performance metrics: 取組コード, 指標名, 年度, H29, H30, R1, R2, R3, 実績, 達成率, 達成度.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈評価の理由〉

商工会の業務効率化と経費削減のため、商工会同士の業務連携を提案していくことは必要である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

具体的な業務連携の提案には至らなかったが、商工会の指導員会議等で近隣商工会との連携提案を行ったことの有効性は高い。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) b

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

セミナー等の事業連携については、専門家派遣事業の活用を提案し、講師謝金等のコストを抑えた効率的な事業実施ができた。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

広域連携の事例を収集し、対象商工会へ連携提案を行ったが、具体的な業務連携に向けた協議の場を提供するまでには至らなかった。

3. 課題

各商工会において近隣商工会との事業連携の機会はあるものの、商工会の垣根を越えた業務(組織)連携の検討には至っていない。今後ますます厳しさが増す組織運営において、特に小規模商工会の事務量軽減、コスト削減に向けた連携提案は必要である。

4. 今後の対応方針(改善点)

業務連携の実現性が高まるよう「広域連携ガイドライン」の見直しを行うほか、業務連携の枠組みからモデル地区を明示した協議の機会を設け、具体的な業務や連携対象商工会を例示しながら、業務連携を促進する。